

■会長 中村 好孝 ■幹事 市川 孝幸 ■会場監督 小野田 勝宏  
 例会 会場 東京都町田市原町田3-2-9 TEL 042-724-3111(代)  
 〒194-0013 レンブラントホテル東京町田  
 事務局 相模原市南区相模大野3-14-10 第2足立ビル4F  
 〒252-0303 TEL 042-746-4108 FAX 042-746-5106

# Vol.54

## 第2520回例会

## No.9

## 令和6年9月17日

### ■会長の時間

会長 中村 好孝

#### 基本的教育と識字率向上月間

皆さま、こんにちは。  
 本日は、今年度はじめての外部卓話となります。はるばる高遠から、黒河内三郎会員の生家であります、酒蔵の「仙醸」の黒河内社長にお越しいただいております。「150年の歴史、日本酒業界の現状、輸出の取り込み等」のテーマにてご講演いただきます。楽しみにしておりましたので、黒河内様、どうぞよろしく申し上げます。

さて、今月は「基本的教育と識字率向上月間」となっています。私たちが住む日本においては、すでに高いレベルの基本的教育が提供されており、識字率も世界でもトップクラスです。そのため、このテーマについては、私たちにとって少し馴染みが薄いと感ずる方もいらっしゃるかもしれません。

しかし、日本のように教育が普及し、ほぼ全ての国民が読み書きできるという環境は、世界的に見れば決して当たり前のものではありません。多くの国や地域では、未だに教育を受ける機会が限られており、識字率も低いまです。特に、女性や社会的に弱い立場に置かれている人々にとって、教育の機会が与えられていないことが深刻な問題となっています。

私たちのクラブでは、このような国際的な課題に対する具体的な取り組みは進めておりませんが、今後、教育インフラの整備支援や教材の提供、遠隔教育の推進など、具体的な形で世界の教育水準を向上させ、識字率向上に向けたグローバルなプロジェクトに参加することを検討してもいいかもしれません。

私たちが世界の教育支援に向けた活動を検討することは、ロータリーンとしての使命を果たすための大切な一歩です。たとえ小さな取り組みであっても、それが世界中の誰かの人生を変える可能性があるかもしれません。

まさにこのことこそが、今年度のテーマである『ロータリーのマジック』の真髄ではないかと思ます。

また、こうした国際的な活動に加えて、国内での教育に対する意識の再確認も重要です。高い識字率を維持するだけでなく、次世代に向けた新たな教育課題への対応も求められています。デジタルリテラシーや持続可能な社会に向けた教育など、私たちが取り組むべきテーマは多岐にわたります。

今月の月間テーマが、私たちにとって地域や国境を越えた教育支援について深く考え、具体的な行動に移す良い機会となることを願っております。

それでは、本日もどうぞよろしくお願いいたします。

### ■幹事報告

幹事 市川 孝幸

本日は、外部卓話です。  
 株式会社 仙醸 代表取締役 黒河内 貴様です。  
 今後の予定です。  
 9月23日は子ども食堂の地引網です。  
 9月24日は休会です。  
 9月26日はメイクツアーです。おださがクラブに行きます。  
 10月1日は定時理事役員会が開催されます。議題がある方は、幹事まで連絡をお願いします。

### その他

毎月月末に翌月の予定をメール等でお知らせしています。ソングリーダー・出席報告等に担当者の記載をしています。その担当者の会員が当日欠席の場合は、他の方に変更をお願いします。

### 外部卓話

黒河内 貴(長野県伊那市 株式会社仙醸社長)



#### 【仙醸の過去・現在・未来】

##### ・会社概要

創業は1866年。1929年に会社設立。今年で創業158年。現在の社長で6代目。売上3億、社員数20人。日本酒を中心に、製造し、輸出もしている。

##### ・長野県の自然と酒造りの環境

長野県は発酵長寿の県。1998年の冬季オリンピックも開かれた。味噌の生産量の半数以上は長野県産「信州みそ」。健康な生活で平均寿命も長く女性は88歳。

当社は南アルプスと中央アルプスに挟まれた伊那谷に立地している。3000メートル級の山々と谷を流れる天竜川の標高600メートルの標高差が2400メートルと大きい。台風がめったにこないこと、内陸性気候で気温の日隔差がおおきいことから、良質な米や果物の産地。米の品質は全国一で、農薬の使用も少ない。乾燥した冬の気候も酒造りに適している。当社はこの地で契約農家と共に酒米をつくり、自社精米している。

##### ・高遠町で創業した松治郎と6代の歴史

城下町高遠で幕末1866年に創業した黒河内松治郎。創業時の名は太松酒造店といった。現在の銘柄仙醸は仙丈ヶ岳に由来するが、仙丈は千(1000)丈(3m)の意味で、3000メートルの山を意味した。創業以来黒河内家で代々継承してきた。

##### ・酒の市場の変化と日本酒業界

日本酒の業界はこの50年で大きく変化してきた。昭和45年には日本酒のシェアは全アルコール類の中で30%を超えていたが、平成30年には5%まで減少した。数量としてもピーク時の3分の1以下である。また市場の半分以上を上位11社が抑えており、11%の中に1000社がひしめく状況で、当社もその中にある。

##### ・2001年に入社したころ

入社したころ地元では高いシェアと販売量をもっていた。このため「個性」ではなく、誰でも飲みやすい安くておいしい酒がもめられ、大量生産型の設備で酒造りをしていた。地元市場の縮小のなかで、県外にも活路を見出そうとしたが、もめられたのは「際立った個性」だった。

(裏面につづく)

今週の情報	本日のプログラム	休会
	次会のプログラム	慶祝・卓話(イニシエーションスピーチ/閑裕次会員・伊藤清明会員)
	近隣クラブ例会情報等	

・ブランド化の失敗(2001-2011)と転機

入社して10年間の課題は、「既設の量産設備を用いて、「個性」ある酒を世に送り出し、ブランド化を実現する」というものだったが、結果的に成功せず、赤字転落で経営危機に陥った。転機となったのはブランド化を進めていた幹部の退職を機に始めた「別分野」の商品だった。

・あまぎけ、どぶろくの発売と成功による強みの発見

最初に着手したのが「どぶろく」だった。これは日本酒造りの技術を応用したもので、アルコール度数は6%と低く、甘酸っぱい味わいが特徴だ。これの売れ行きが好調となり通年で製造するようになった。また2005年から製造していた麴の甘酒も、甘酒ブームに乗って大きく売上が増加した。甘酒の製造にはもともとあった量産設備が大いに役立ち、黒字化を実現した。黒字化によって財源ができたことで、高級酒づくりに欠かせない、手作りの麴室の設備投資が実現した。これ以後、日本酒製造は量産設備ではなく、伝統的な手造りに回帰した。品質も年々上昇し、現在は、量産設備と、職人技を品目や規模によって使い分ける「ハイブリッド化」が実現している。

・経営理念「米発酵文化を未来へ」

ピーク時には売上の3分の1が甘酒になる中で、会社として進むべき方向性を定めるため、経営理念を定めた。背景には国内でのコメ消費の低迷と、米農家の後継者不足と高齢化、耕作放棄地の増加という日本の農業の危機的な状況があった。

一方で海外では米を原料とした発酵食品(酒、酢、醤油、味噌)はいずれも輸出の増加が続いている。当社の使命は、酒造りの技術を活用して、現代のライフスタイルに合った新しい米発酵食品・飲料を作ることでもコメの消費を増やし、農家をささえ、文化を継承することである。

・コロナ禍以後の取り組み(2020-2024)

2020年のコロナ禍においては主に、3つの取り組みに力を入れた。

- ①高濃度エタノール製品の発売  
手指消毒用のエタノールが不足する中で、酒造メーカーとしては全国で3番目に発売。酒の売上の減少を補填する意味でも価値があった。
- ②桜のクラフトジンの開発  
地元のタカトオコヒガンザクラの葉から抽出した桜の香りを生かしたジンをつくった。
- ③輸出の取り組み  
韓国、米国、シンガポール、オーストラリアなどを中心に輸出を進めている。

・3つの夢

- ①酒の国内外での販売を伸ばすこと
- ②酒蔵を目的地とするツーリズムの産業を地元で作ること
- ③発酵技術を応用して社会問題を解決する(生ごみの肥料への転用など)こと。

■例会の様子



■本日のビジター

クロコウチ タカシ  
黒河内 貴様 (株式会社仙醸 代表取締役)

■本日のスマイルBOX

中村 好孝君

★本日は「仙醸」の黒河内貴様による外部卓話です。遠方よりお越しくださいますありがとうございます。本日はよろしく申し上げます。

黒河内 三郎君

★皆さまのご好意により、私の生家の造り酒屋仙醸の当主の卓話が聞けることが大変うれしいです。

黒河内 彰子君

★「仙醸」代表取締役社長、黒河内貴さん、遠路お越し頂きありがとうございます。大変うれしく思います。

中村 辰雄郎君、竹村 克二君

★黒河内貴仙醸社長遠い道のり卓話に来て戴きありがとうございます。信州の特別名酒の歴史をたっぷりとお話してください。

徳久 京子君、佐伯 外次君、市川 孝幸君、栗林 一郎君、小林 大二郎君、小野田 勝宏君、江田 昌弘君、森泉 朋子君、青木 亜也君

★黒河内貴様 今日は、ありがとうございます。卓話よろしく願い申し上げます。

足立 旬一君、藤原 新一君、梶田 直輝君

★株式会社 仙醸 代表取締役 黒河内貴様、遠路お越しいただきありがとうございます。卓話を楽しみにしております。

小方 實君

★黒河内貴様 ようこそいらっしゃいました。卓話楽しみにしております。

小方 實君

★家内の誕生プレゼント有難うございました。

小川 仁司君

★黒河内貴様よくおいで下さいました。楽しんでいって下さい。

■本日のスマイル 28,000円  
■累計 439,000円

□出席報告：出席委員会 9月17日		会員数	出席	メイクアップ	合計	出席 (%)	欠席
前々回 第2518回 9月3日	当日	48 (45)	34	1	35	77.78	10
	修正	48 (46)	34	5	39	84.78	7
第2520回 9月17日	当日	49 (48)	36	0	36	75.00	16

9月3日(修正) 完全欠席＝一ノ瀬、大野、澁谷(直)、杉崎、中山(正)、中山(智)、松山

第2520回(今年度第9回)例会 食事ロス	0円	現在までの通算食事ロス	21,600円
-----------------------	----	-------------	---------